



久米小だより

久米小学校だより 第1号
令和2年5月28日発行
文責 校長 松岡里益

6月1日(月)からの学校再開に向け、最終の準備段階として5月25日(月)～29日(金)までは、全学年通常登校で、給食を食べて午後も授業等も行なっているところです。学校での生活にも少しずつ慣れてはきているようですが、身体的、精神的に配慮が必要な子どももいるようです。保護者との連携を図りながら対応しています。また、新型コロナウイルス感染症予防対策も徹底しながら、無理のないよう学年の実態に応じて教育活動を進めていきたいと思ひます。何かありましたら遠慮なくご相談ください。

教室での活動の様子を拝見！

1年生の国語の学習では、正しい鉛筆の持ち方を電子黒板で確認した後、ひらがなの練習に取り組んでいました。



6年生の国語の学習では、新しい内容に入る前に、国語辞典を使って言葉の意味調べを行い、ノートに丁寧にまとめています。辞書には調べた場所が分かるように付箋紙が貼ってあり、子どもたちにとっては、学びの成果を示す足跡としても大切なものになっています。最高学年として、自覚ある学びの姿を見ることができています。

今週から、待ちました給食も始まりましたが、感染症予防のため給食前を向いていただきます。グループを作ります。楽しい雰囲気の中での給食時間とは違い、2年生以上にとっては少し物足りないと感じるところもありますが、安心・安全な給食時間になるように心がけていきたいと思ひます。



天気の良い日の昼休みには、校庭で楽しく竹馬や一輪車、ブランコに乗って遊ぶ姿が見られます。臨時休業の期間が長く続き、運動する機会が少なかった子どもたちにとっては、体力の回復と共に精神面での安定につながっているのではないかと感じています。熱中症には十分配慮しながら、外へ出かけて元気に遊ぶよう声をかけていきます。



読書は頭や心の栄養源



図書担当の河野先生は絵が得意で、定期的にウエルカムボードにすてきなメッセージと絵を描いてもらっています。子どもたちも先生の絵が大好きです。本校の子どもたちは全体的に本が大好きです。昨年度は3学期の授業日は少なかったのですが、1年間の貸出冊数は一人平均100冊となり、目標の80冊を大きく上回る結果となりました。

5月中旬から貸出しを開始しましたが、毎日のように図書館で新しい本を探している姿を見ることができています。入り口には消毒液を準備し感染予防にも努めています。子どもたちの意識も高くなっているようです。



今年度の朝の読書タイムでは、物語文・エッセイ・ノンフィクションなど絵の少ないものに挑戦しています。本を読む楽しさを体験させると共に、進んで読書する習慣を身に付けさせ、学力向上にもつなげていきたいと考えています。家庭でも、親子読書の時間を作っていただくとうれしいです。

6月の主な行事予定

6月は、『心のきずなを深める月間』『食育月間』『環境月間』です。

6月1日(月)	安全点検
3日(水)	不審者対応訓練
5日(金)	耳鼻科検診
9日(火)	眼科検診
12日(金)	かがやき集会
17日(水)	放課後子ども教室開始
18日(木)	内科検診
19日(金)	hQUアンケート
26日(金)	地震避難訓練
29日(月)	検尿配付(30日回収)

